

政務活動費出金票

出金日	令和6年6月7日
項目	研修費
摘要	令和6年度 上越市議会議員勉強会負担金
金額	7,800 円

(↓領収書等貼付↓)

当初負担金10,000円ー清算返還金2,200円＝実負担金7,800円

領 収 書

令和6年6月7日
領収No. 16

上越市議会議員 高山 ゆう子 様

金額 ¥10,000 円

但し、令和6年度 上越市議会議員勉強会負担金として

上記正に領収いたしました

上越市議会議長 渡邊 隆

清算書

令和7年3月3日
請求No. 16

上越市議会議員 高山 ゆう子 様

上越市議会議長 渡邊 隆

但し、令6年度 上越市議会議員勉強会清算返還金として

項目	単価	金額
議員勉強会負担金返還金	2,200	2,200
	小計	2,200
	消費税	0
	合計	2,200

領収書



令和7年3月3日
領収No. 16

上越市議会議長 渡邊 隆 様

金額 ¥ 2,200 円

但し、令6年度 上越市議会議員勉強会清算返還金として

上記正に領収しました

上越市議会議員 高山 ゆう子

政務活動費出金票

出金日	令和6年7月17日
項目	研修費
摘要	新潟県女性議員の会総会研修「男女共同参画について」 「新潟県の子育て施策」交通費
金額	3,880 円

(↓領収書等貼付↓)

支払証明書

支払金額 3,880 円

内訳 新潟県女性議員の会総会研修「男女共同参画について」「新潟県の子育て施策」交通費

- ・支払年月日 令和6年7月17日
- ・支払先 新潟交通株式会社、頸城自動車株式会社
- ・支払内容及び領収書が徴されない理由

宛名の記載がない乗車証明書の取り扱いのため

上記のとおり支払ったことを証明する。

令和6年7月17日

議員名：高山 ゆう子

高速バス乗車証明書

区間	上越富岡～県庁
運賃	1940円/大人片道
乗車日	令和6年7月17日

上記乗車されましたことを証明致します。

新潟市中央区万代1丁目6番1号
 新潟交通株式会社
 担当 ()

高速バス乗車証明書

乗車日	令和6年7月17日	運賃	現金 <input type="checkbox"/> ICカード <input checked="" type="checkbox"/> クレジット <input type="checkbox"/>
		運賃	1940円/大人片道
乗車区間			
系魚川駅前	早川	新潟駅前	女池インター
横町一丁目	能生	万代シテイ	中央インター
伊ノ町の系魚川	名立・谷浜	古町	鳥原
系魚川インター	木田	市役所前	巻・潟東
直江津SC前	高田駅前(案)	がんセンター	三条・燕
直江津駅前	北城町三丁目	県庁東	
マルケハセンター	高土町	栄	柏崎
上越市役所入口	寺村	長岡北	上方
市民プラザ前	上越インター富岡	大積	柿崎
頸城	曾地	西山	潟町
潟町	西山	曾地	頸城
柿崎	大積	上越インター富岡	市民プラザ
上方	長岡北	寺村	上越市役所入口
柏崎	栄	高土町	マルケハセンター
三条・燕	がんセンター前	北城町三丁目	直江津駅前
巻・潟東	市役所前	高田駅前	直江津SC前
鳥原	古町	木田	系魚川インター
中央インター	万代シテイ	名立・谷浜	伊ノ町の系魚川
女池インター	新潟駅前	能生	横町一丁目
県庁		早川	系魚川駅前

上記乗車されました事を証明します。

新潟県上越市石橋二丁目12-52
 頸城自動車株式会社バス営業所
 担当乗務員 ()

令和6年度(2024年度)

新潟県女性議員の会 総会資料

令和6年7月17日(水)

13:30~14:20

新潟県議会第二会議室

男女共同参画について市町村に期待すること

令和6年7月17日(水)

新潟県知事政策局

男女平等・共同参画統括監 平田美由紀

1

I 県の取組

新潟県の子育て政策

～「子育てに関する国・県の補助金」について～



令和6年7月17日
新潟県福祉保健部こども家庭課



令和6年版 男女共同参画白書(内閣府)

内閣府より令和6年男女共同参画白書が6月14日に公表されました。

我が国における家族の姿は変化し、人生は多様化し、昭和60(1985)年には、全世帯の4割を占めていた「夫婦と子供」の世帯は、令和2(2020)年には全体の25%となり、単独世帯とひとり親世帯が全体の約半数を占めるようになりました。令和5(2023)年時点で、共働き世帯数は専業主婦世帯数の3倍となっており、未婚女性の理想も、未婚男性の将来のパートナーに対する期待も、家庭と仕事の両立を望む人の割合が上昇するなど、若い世代の理想とする生き方、働き方は変わってきています。このように職業観・家庭観が変化する中において、「男性は仕事」「女性は家庭」の「昭和モデル」から、全ての人が希望に応じて、家庭でも仕事でも活躍できる「令和モデル」に切り替える必要があります。全ての一人が希望に応じて、自らの無性と能力を最大限に発揮し、持続的に活躍していくためには、健康課題と上手に付き合っていくことが「令和モデル」の実現に向けた基盤となるとしています。

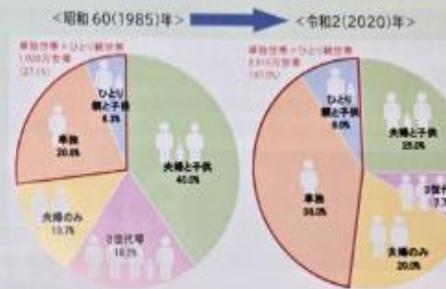
- ❖ **男女で異なる健康課題** (資料[特-14]回参照)
女性が不本意に離職することなく、キャリアを形成していくためにも、仕事と家事・育児等の両立支援に加えて、女性特有の症状を踏まえた健康への理解・支援等の「健康との両立」が求められるとしています。

- ❖ **両立支援は新たなステージへ** (資料[特-6]回参照)
企業の労働力の確保・労働生産性の向上のためにも健康支援は必要不可欠であり、職業生活における「健康」の維持・増進は、従業員の「ウェルビーイング」を高め、企業における生産性を向上させることが期待でき、社会全体で健康課題に取り組むことで、人々の労働参画や地域活動などへの参画が拡大し、日本経済の成長や地域を含めた社会全体の活力向上につながるであろうと指摘しています。

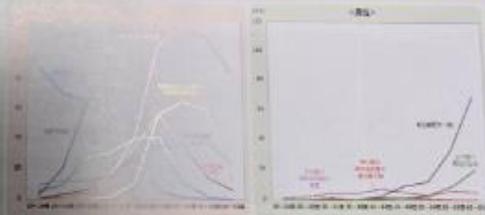
仕事と健康の両立

～全ての人が希望に応じて活躍できる社会の実現に向けて～

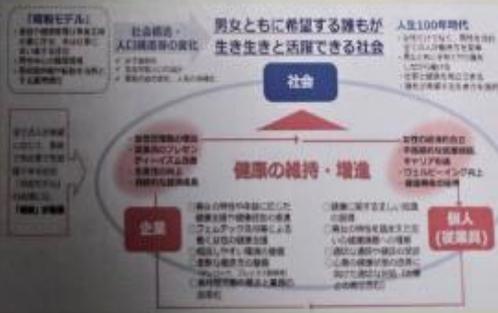
家族の姿の変化



性別別、両性特有の病気の種類数(有期限職業・令和2(2020)年)



特-69 両立支援は新たなステージへ



出典: R6 男女共同参画白書(内閣府)